



グローバルイゼーション考
- 外資系コンサルティング企業のローカライゼーションの例から
Thoughts on globalisation
through a foreign consulting firm's localisation

小栗 新

Arata Oguri

アラップ プリンシパル | 東アジア事業部 取締役 | 日本における代表者
Principal | Tokyo Office Leader | Member of East Asia Region Board, Arup

日時: 2017年10月26日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

企業のグローバル化の必要性が日本で叫ばれるようになって久しい。国際市場では海外プレイヤーが活躍しており、そうした先進企業と伍して競争していくためには日本企業がさらにグローバルイゼーションすることが不可欠である、との文脈で語られることが多い。本講義では、講師が勤務するイギリス系エンジニアリング企業を題材として、その過去70年間の海外展開を含む成長の歩みについて、所有形態、マーケットの捉え方、拠点戦略、組織設計、人事・登用・研修、知識共有などの観点から概観する。また、同社の対日本戦略と業務案件の変遷を、20有余年の間の講師の同社内での役割の変化と重ねて辿ることで、進行中のローカライゼーションの一例を体感していただく。そのうえで、グローバルイゼーションとは何かを議論したい。

